

※別の注文書で別途注文を受けた場合、既受注分と合算はせず、原則最新の受注数を優先します。／希望搬入日があればお書き添え下さい。

返品条件付注文

書店印

ご担当者様

ご発注日 月 日

20年10月新刊

冊

著●竹内洋岳 予価●1,800円+税  
978-4-8118-0843-7

下山の哲学  
登るために下る

太郎次郎社エディタス  
FAX:0120-046140

【新刊】返条付注文のみ 初回搬入予定●10/23(金)

# 下山の哲学

## 登るために下る

著●竹内洋岳 予価●本体1,800円+税

四六判・並製 / 256P / 978-4-8118-0843-7 / C0075

日本人初の14サミッター(8000m峰14座完全登頂)・竹内洋岳の最新刊は、山岳書初(!)の「下山」ドキュメント!

8000m峰14座完全登頂とは、14の山すべての頂から

無事に下ってくるということ——

「生きて還ってこなければ、下山しなければ、登山ではない」とつねづね語り、それを実現してきた竹内は、どのように山を下ってきたのか。疲労困憊のなかで頻発する危機、生死を分けた判断と行動、朦朧とする頭で考えていたこと……。敗退もふくめ、17年にわたる全14座の下山をたどり、現在に続く新たな挑戦を報告する。

登山では「リタイア」ができない。必ず自分の力で帰ってくる必要があります。だから、「降りてくる」という行為は私たちにとってすごく重要で尊いものなんです。(本文より)



ジャンル●登山・ノンフィクション



登るために下る

竹内洋岳

構成●川口穰

8000m峰  
登頂後の世界

もともと過酷な行程でありながら、光が当たることのない「下り」。8000m峰14座すべてに登頂した登山家が17年にわたる全下山の軌跡をたどりつつ、下りとは何かを思索する。

下山の哲学

太郎次郎社  
エディタス

※書影は製作中の仮のものです

【著者】竹内洋岳(たけうち・ひろたか)

プロ登山家、14サミッター。1971年、東京都生まれ。立正大学客員教授。ハニーコミュニケーションズ所属。アルパインスタイルもとり入れた速攻登山で8000m峰に挑みつけ、2012年に14座目となるダウラギリ登頂に成功。日本人初の8000m峰14座完全登頂を果たす。2013年、植村直己冒険賞を受賞。現在は、未踏峰への挑戦を続けながら、野外教室や防災啓発などにも取り組んでいる。著書に『標高8000メートルを生き抜く 登山の哲学』(NHK出版新書)、『頂きへ、そしてその先へ』(東京書籍)、聞き書きによる書籍に『初代 竹内洋岳に聞く』(塩野米松、ちくま文庫)など。

新刊の事前ご発注をいただいた書店さまへは、初回搬入日に返条付注文で満数出荷いたします。ご発注いただいていない書店さまへは入荷しません。※見計らいなどの理由で、弊社新刊の定期入荷をご希望の場合は、営業部までご連絡ください。

弊社新刊は【注文出荷制】です。新刊委託配本はございません(返品フリー)

太郎次郎社  
エディタス

東京都文京区本郷 3-4-3-8F  
☎ 03-3815-0605  
担当●須田/尹(ゆん)

FAX フリーダイヤル  
0120-046140

←ご注文は左記 FAX にてご返送下さい

◎◎弊社はいつでも返品・入帖承ります◎◎

取引取次●ト・ニ・楽・中・日教販